



開催地名：奈良県生駒市	
開催日時	令和3年8月30日（月） 9:00～10:30
開催場所	生駒市立生駒小学校
語り部	吉田亮一（宮城県仙台市）
参加者	5年児童 教職員 約80名
開催経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市は、今のところ、大きな災害にあっていない。しかし、今後の南海トラフ巨大地震に対しての備えが必要である。</li> <li>・地域も含め、児童も避難を要する災害を経験していないため、地震や津波による災害はよくわかっていない。また、災害に備える意識が低い恐れがある。</li> <li>・避難場所や避難場所に至る経路について確認できていない恐れがある。</li> </ul>
内容	<p>（１）はじめに</p> <p>地球上では、様々な自然災害が起こるがその原因は何か。いろいろな理由があると思うが、一つは皆さんと同じように地球も生きているということ。地球も生きているからこそ、災害も起こるということを忘れないでほしい。その上で、皆さんに災害の際には考えて行動するということの大切さをお伝えしたい。</p> <p>（２）災害に対する備え</p> <p>奈良県には、非常に多くの活断層が密集している。その中に生駒断層という断層があり、そのそばに皆さんは住んでいる。いつ、どこで、どのように地震が発生するかは分からない。地震に限らず、災害が起きた際は、考えて行動することが極めて重要である。</p> <p>皆さんの部屋は、しっかりと整理整頓はできているか。机の下に、何か物を入れていないか。地震が起こった際は、机の下には物を置かず、身を隠せることができるようにしておこう。大きな揺れが起こると、椅子や台座にキャスターがついていると動いてぶつかる可能性がある。キャスター付きの椅子などは、使わないときは必ずブレーキをかけておくようにしよう。また、窓ガラスが割れて飛び散るのを防ぐために、飛散防止フィルムというのを張りカーテンを閉めておくこと。そして、タンスや本棚が倒れてきて下敷きになることがある。突っ張り棒を使い、固定して揺れでタンスや本棚が倒れないようにしよう。</p> <p>教室などの部屋の点検方法がある。部屋に入ったらまず部屋の真ん中に行くこと。そして、各面ごとに向いてどのような物が置いてあり、どのよう</p>

	<p>な危険があるか、予測するようにしよう。</p> <p>地震が起きた際には、学校にも危険がたくさんある。廊下は避難通路であり、避難する際に邪魔になるようなものは、廊下に置いてはいけない。登下校にも危険がたくさんある。狭い道や歩道が多く、揺れでブロック塀が倒れてくることがある。また、道路が割れて穴ができることもある。昼間であれば確認できるが、夜間で電気がない状態では確認することは難しい。トランス電柱、自動販売機、看板など上から物が落ちてくる可能性があり、注意しなければならない。落下物から体や頭を守るには、ランドセルの蓋の金具を開けて蓋で頭、首筋を覆い、体を丸めて守るようにしよう。</p> <p>備蓄品は、少なくとも1週間分の備えが必要であり、できれば10日分が望ましい。季節ごとに準備するものも異なってくる。揺れが収まったらすぐに使う防災用品6点セットというのがある。厚手の靴下、靴、携帯ラジオ、ヘッドライト、防犯ブザー、雨具をナップザックに入れて、常に枕元に置いておこう。</p> <p>(3) 東日本大震災を経験して</p> <p>避難をする場所はどこか地域によって異なると思うが、まずは一人一人が事前に避難所のルートや現場を確認しておくことが大切である。留守番をしていて、誰もいないときに地震が起こった際は、一人で避難所へ避難しなければならない。災害が起こった際には、地域の方々が協力して避難所を設営してくれる。避難所に行かずに亡くなった人もたくさんいる。どこが安全かということをよく考えて行動してほしい。</p> <p>「いつも皆が助け合い、協力をして命の大切さと人を思いやる気持ちで仲良く暮らし災害に勝ちましょう」。是非、この言葉を約束してほしい。そして、皆さんは地域の一員であることを決して忘れてはならない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
開催地より	<p>今後、本校では地域の方と共に避難所までの避難マップを作成する予定である。今回の講演が児童にとってそれらのいいきっかけづくりになったのではないかと感じた。</p>